

“はかる”技術で未来を創る



第69期 2021年9月期
第1四半期決算説明資料

2021年2月8日

目次

1. 決算ハイライト
2. 2021年9月期 連結業績予想
3. “はかる”技術への取り組み

1.決算ハイライト

トピックス

- ／ 売上高は前期並み、利益は伸張
- ／ 自動車向け全固体電池ビジネスが好調
- ／ 新型コロナウイルス感染拡大の影響
- ／ 2021年9月期通期連結予想

ビジネス総括

成長分野

- 》 5G/ローカル5G
- 》 自社製品SYNESIS
- 》 全固体電池
- 》 ゲーム業界ソフトウェア開発支援

受注・売上 堅調好調

新型コロナウイルス感染拡大の影響から回復の兆しがある分野

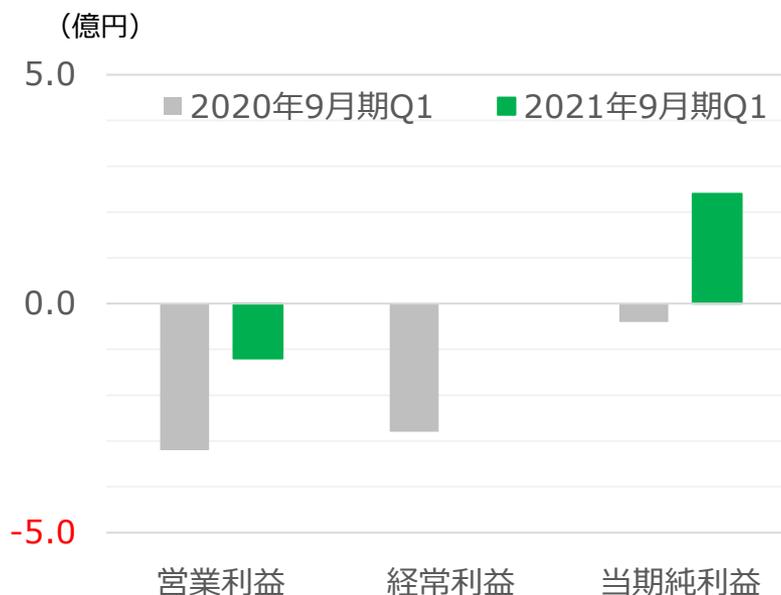
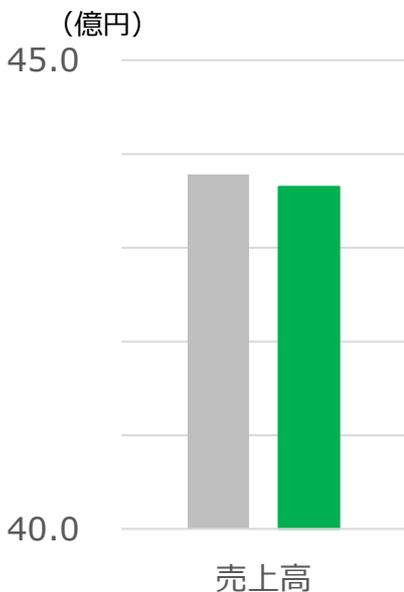
- 》 機械制御 / 振動騒音

受注に復調の兆し

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている分野

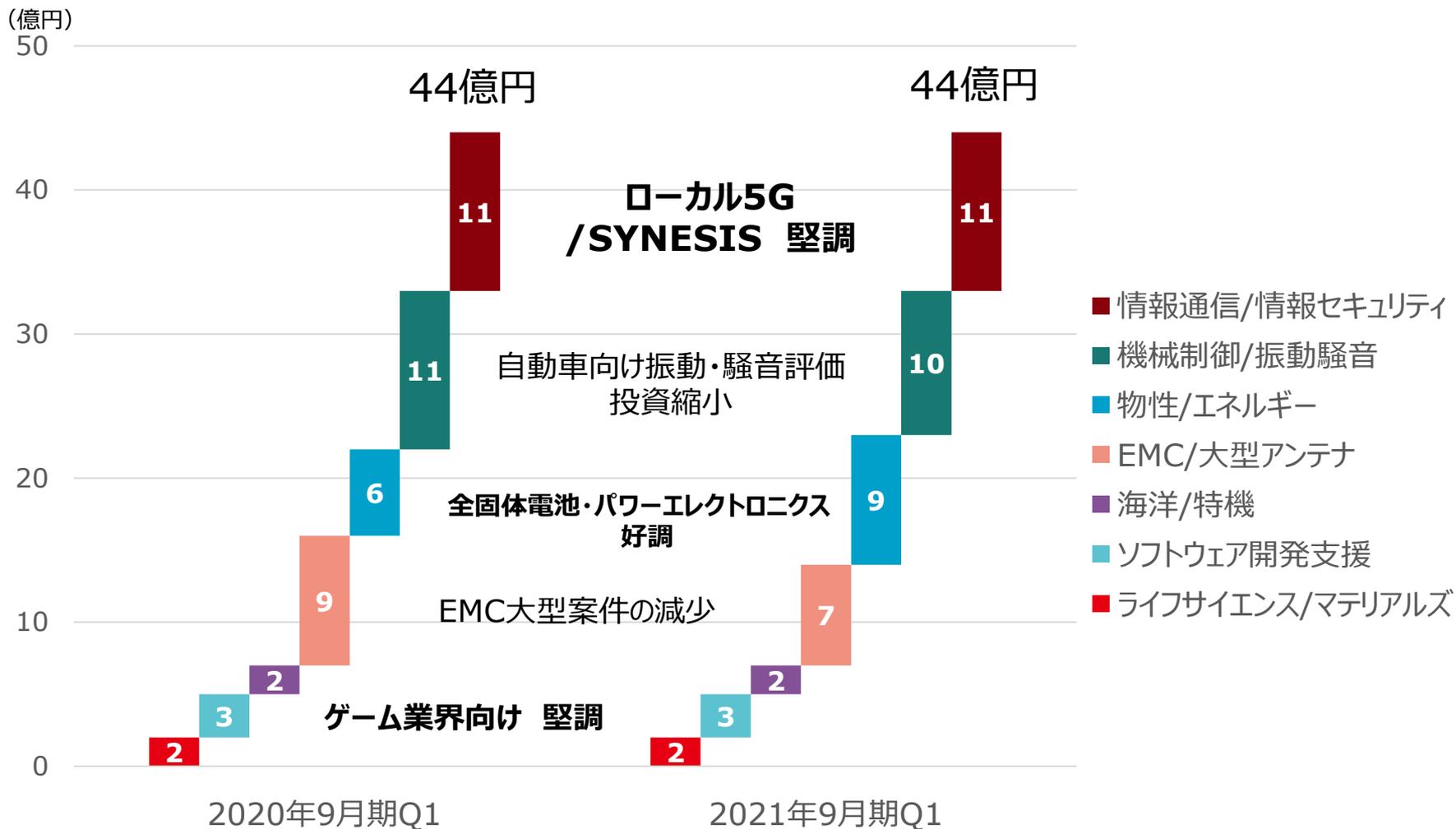
- 》 製造分野、医療分野の設備投資延期による販売不振
 - 》 EMC/大型アンテナ、海洋/特機、ライフサイエンス/マテリアルズ

業績ハイライト

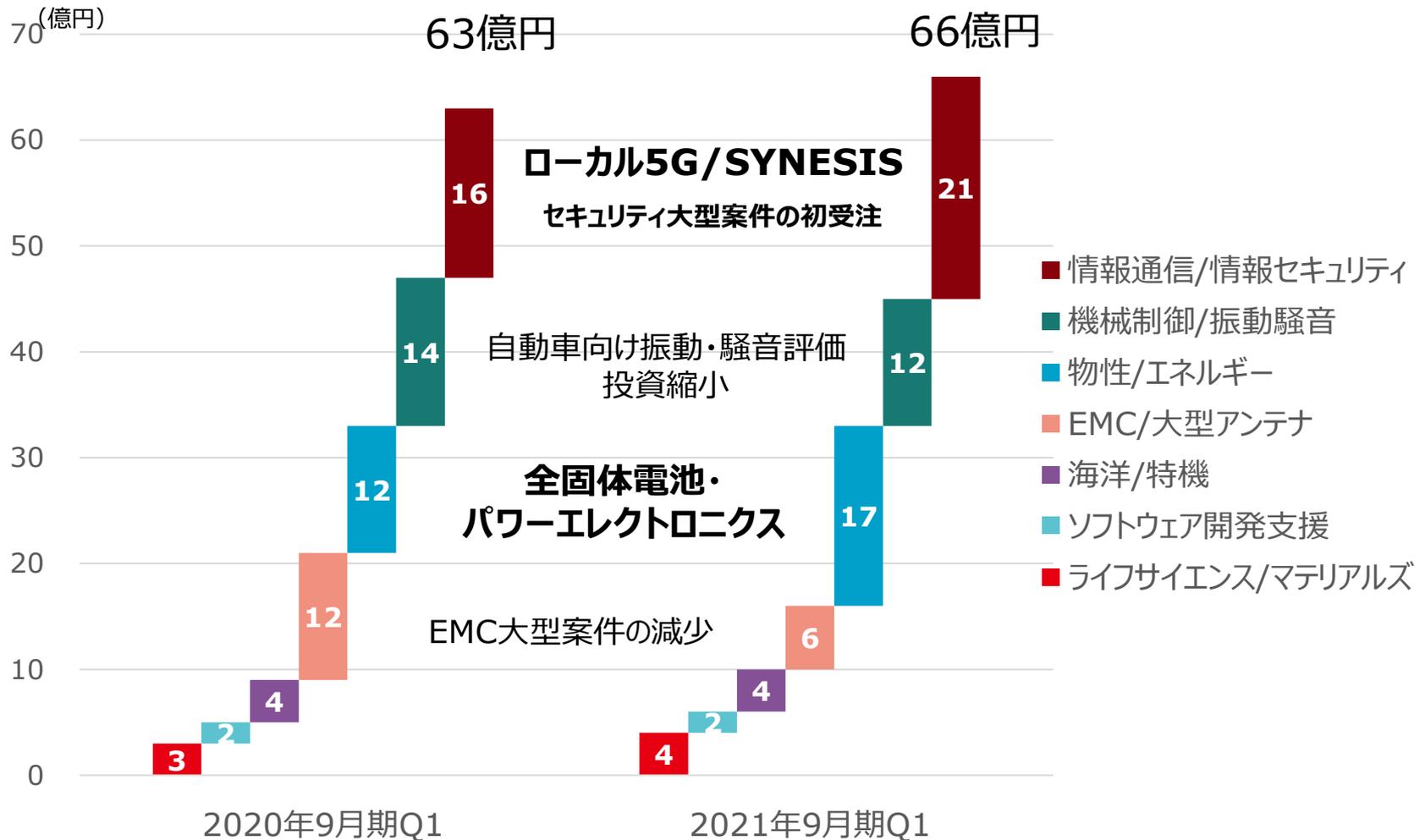


	2020年 9月期Q1	2021年 9月期Q1	増減額	増減率
売上高	43.8億円	43.7億円	△0.1億円	△0.3%
営業利益	△3.3億円	△1.2億円	+2.1億円	-%
経常利益	△2.8億円	△0.01億円	+2.79億円	-%
当期純利益	△0.4億円	2.4億円	+2.8億円	-%

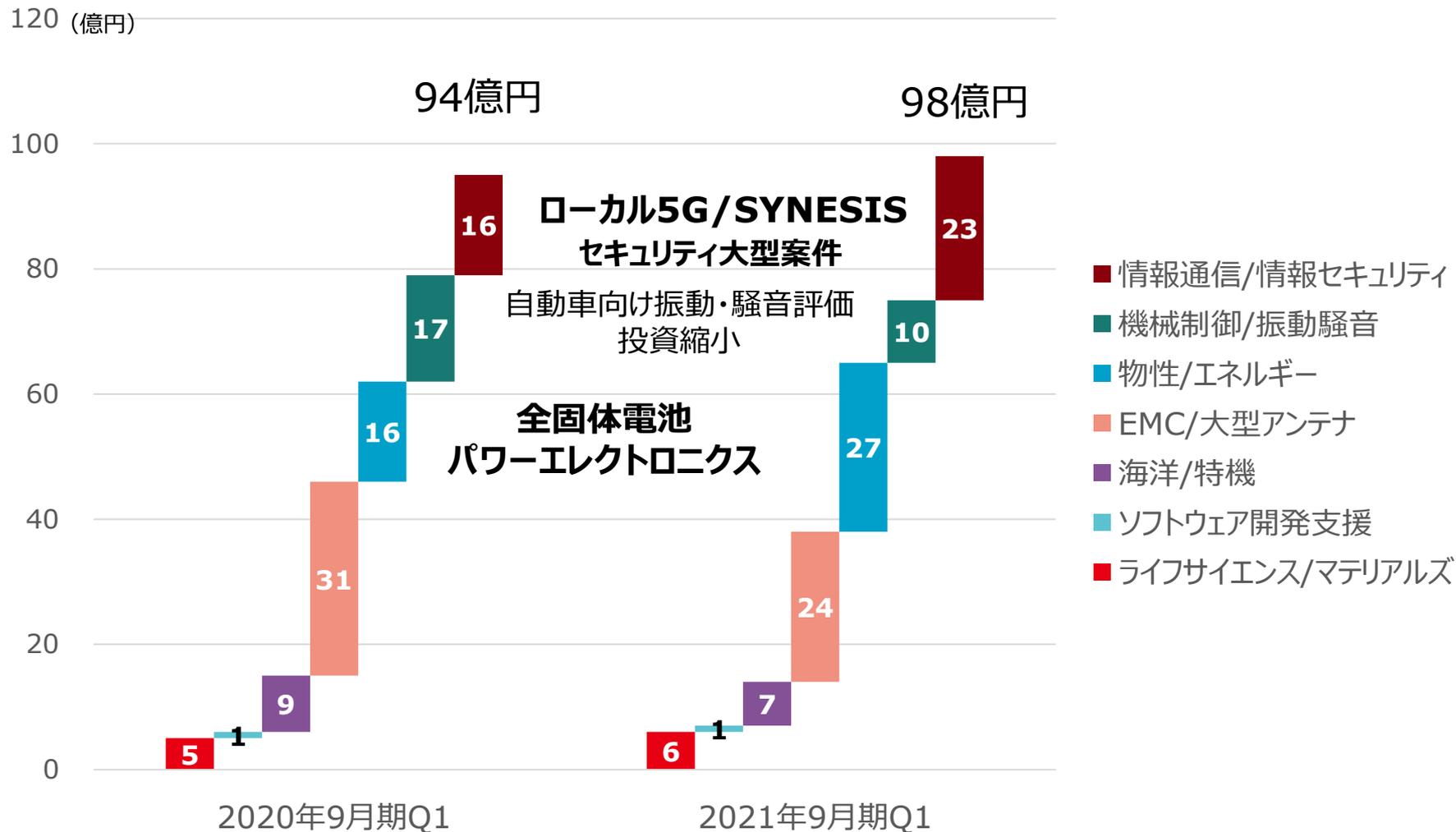
売上高推移（セグメント別）



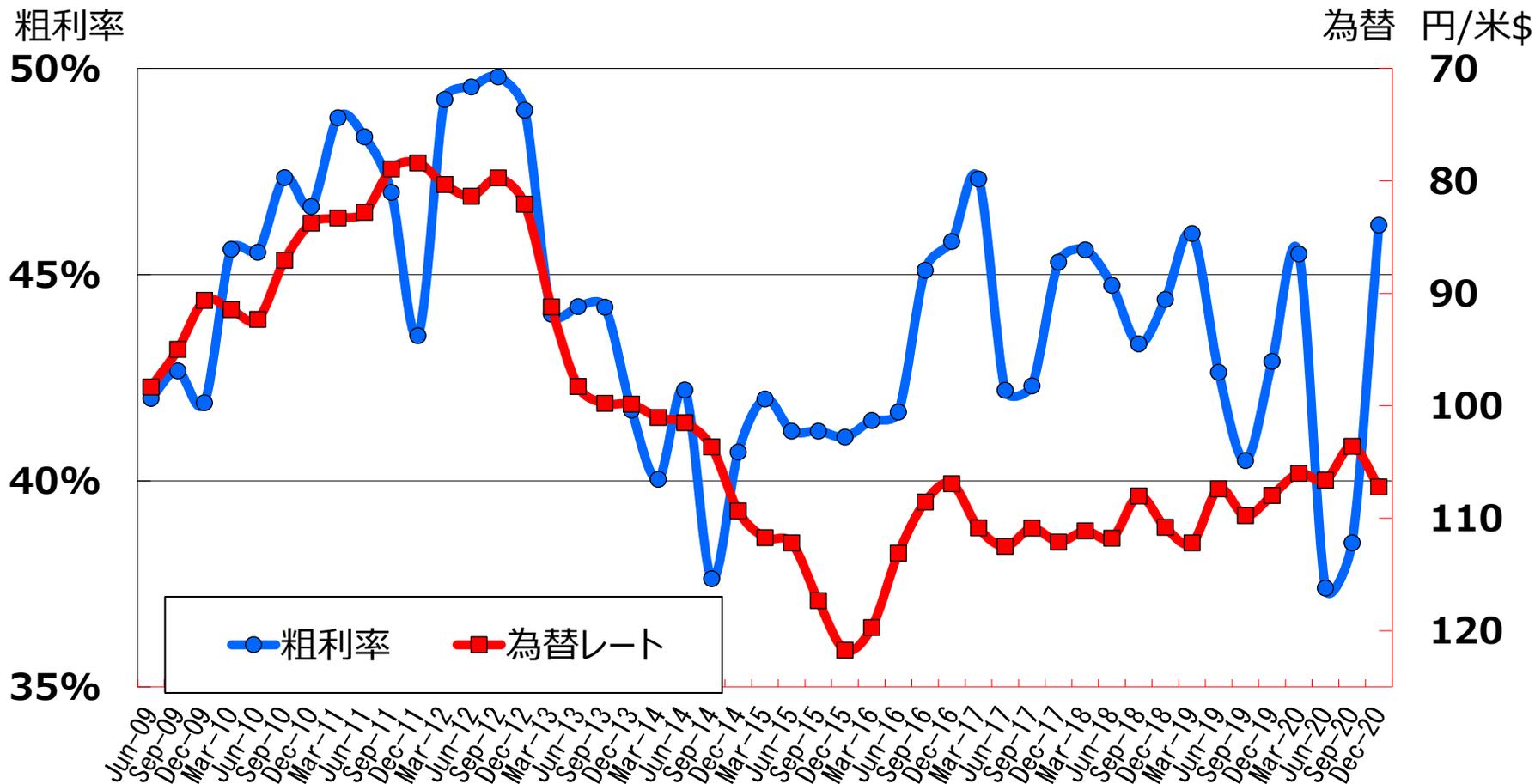
受注高推移（セグメント別）



受注残高推移（セグメント別）



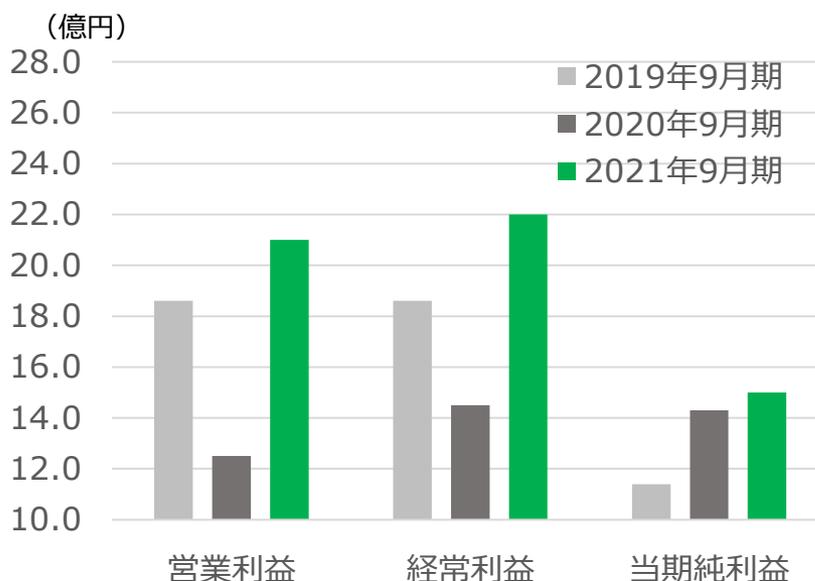
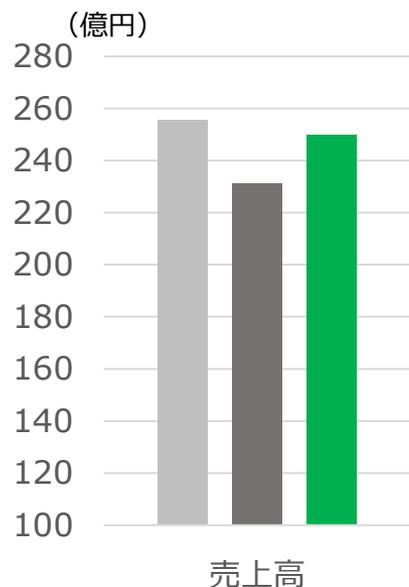
為替と粗利率



2. 2021年9月期 連結業績予想

2021年9月期業績予想値

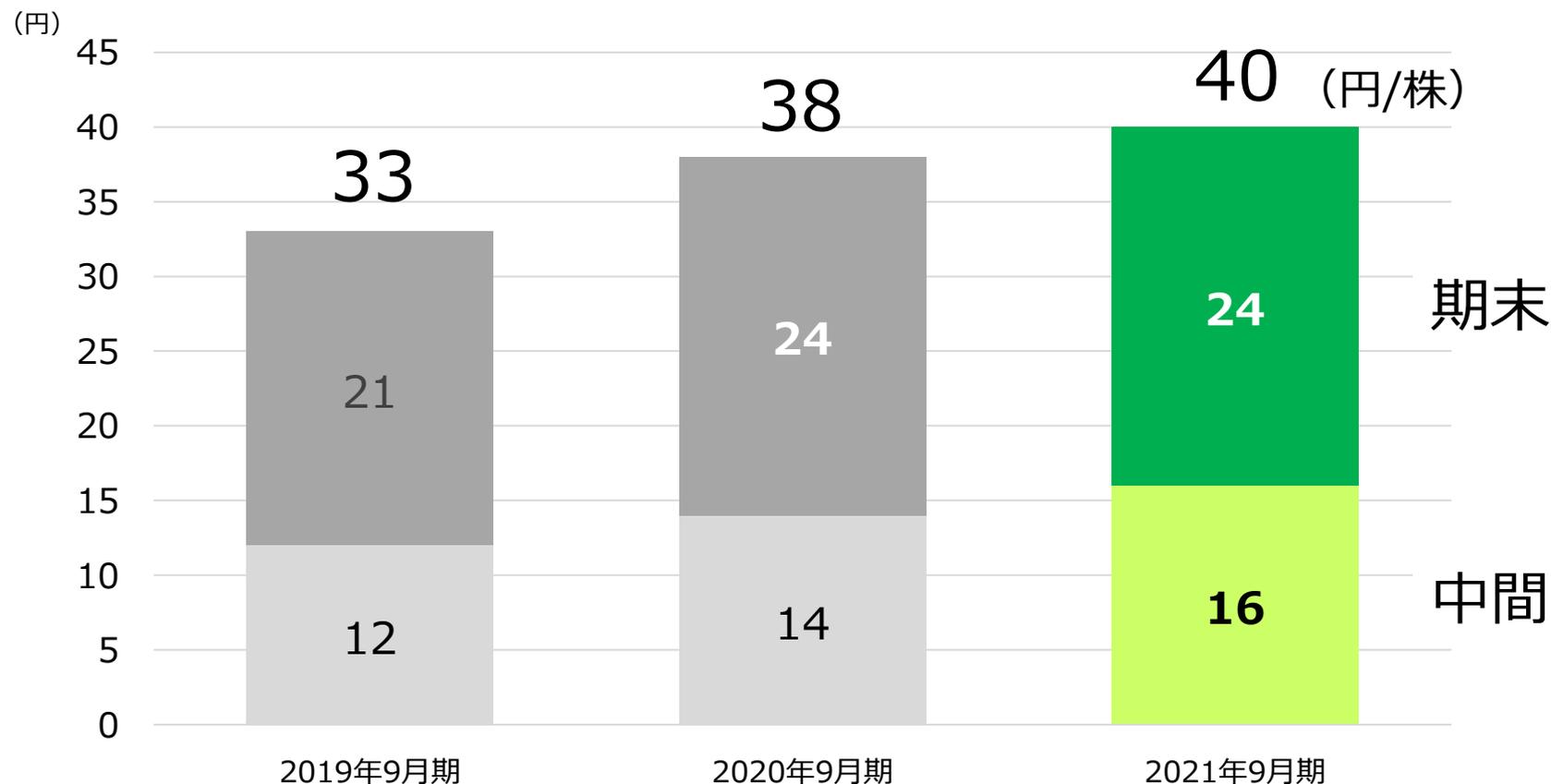
期初計画
から変更なし



	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期予想値
売上高	255.4億円	231.0億円	250.0億円
営業利益	18.6億円	12.5億円	21.0億円
経常利益	18.6億円	14.5億円	22.0億円
当期純利益	11.4億円	14.3億円	15.0億円

配当金予想

期初計画
から変更なし



2021年9月期の配当性向は65%を想定

3.“はかる”技術への取り組み

「東陽ソリューションフェア2020 Online」を開催して盛況

当社は、初のオンラインイベント「東陽ソリューションフェア2020 Online」を2020年12月9日(水)～11日(金)に開催し、多くの方にご来場いただきました。40を超えるオンライン技術セミナーに加え、バーチャル展示ホールで製品を紹介し、最新技術・ソリューションを体験していただきました。
2021年2月に「セミナーアンコール」を予定しています。

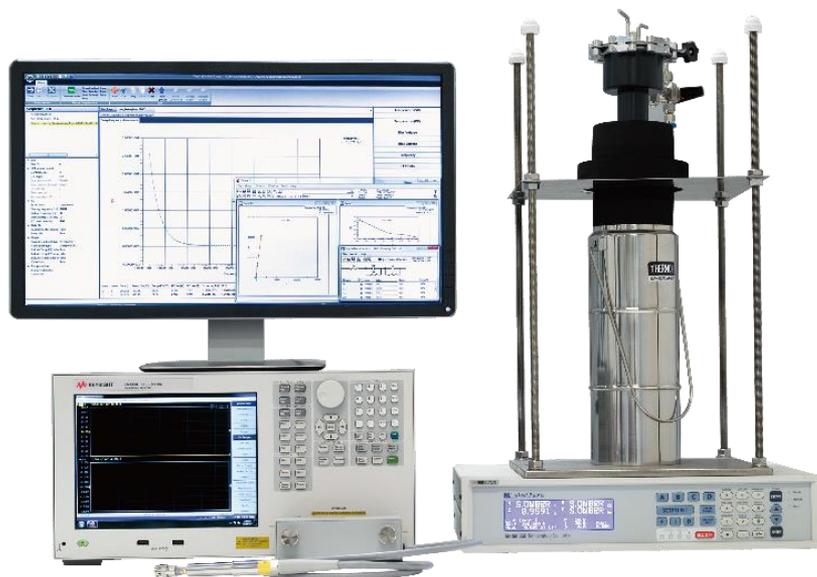


当社TIセンター(東京都中央区)よりオンラインセミナーを配信しました。

物性/エネルギー～好調な全固体電池ビジネス～

近年、各国の環境規制により電気自動車(EV)への注目が高まる中、高性能で安全な全固体電池をEVに搭載するための研究開発が活発におこなわれています。

高周波インピーダンス測定システム（自社開発）は全固体電池の性能の改善に貢献しています。



高周波インピーダンス測定システム

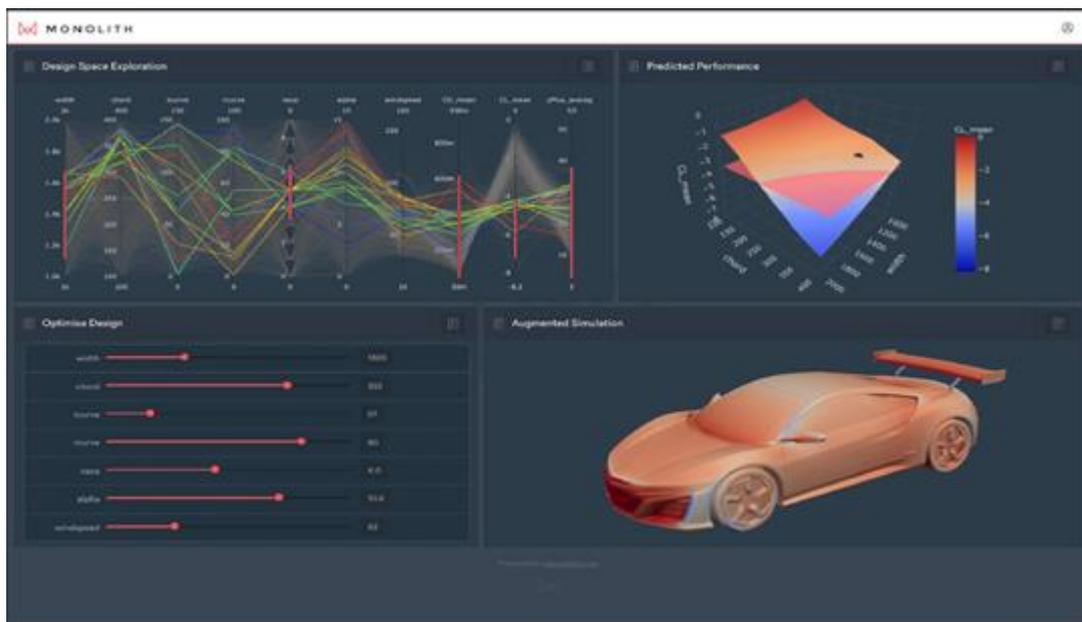
参照

https://www.toyo.co.jp/material/products/list/contents_type=2647

自動車関連における“はかる”技術の拡がり

電気自動車(EV)や自動運転自動車の開発支援をさらに強化し、自動車産業の発展とともに持続可能な社会づくりに貢献します。

- ・AI を用いたデータ解析ツール「Monolith AI」販売開始 (2020/10/9)
- ・ターゲットシミュレータ「ASGARD2」販売開始 (2020/10/19)
- ・エミッション計測ソフトウェア「ES10/VE」(自社開発)販売開始 (2020/11/9)



Monolith AI

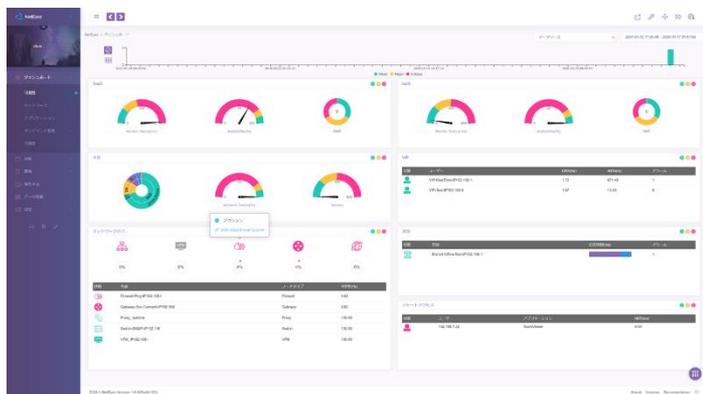
参照

https://www.toyo.co.jp/files/user/company/documents/release/201008_monolithai_69003.pdf

企業のDX化、テレワーク普及の支援

2020年急速に拡大した企業のDX化やテレワーク普及を支援する様々なサービスやソリューションを提供します。

- ネットワーク監視ソリューション「NetEyez™(ネットアイズ)」(自社開発)を3月に発売
情報システム部門の負担を軽減し、ネットワークの的確で快適な利用に貢献
- 標的型メール訓練・教育サービス「SecuLiteracy(セキュリテラシー)」の提供でJB
サービス社と協業サイバー攻撃に対応する企業教育推進をサポート



NetEyez™(ネットアイズ)の操作画面イメージ
※開発中のものです。

参照

https://www.toyo.co.jp/files/user/company/documents/release/201208_neteyez_69010.pdf



SecuLiteracy(セキュリテラシー)の運用イメージ

参照

https://www.toyo.co.jp/files/user/company/documents/release/201019_knowbe4_seculiteracy_69006.pdf

科学技術や国際交流への貢献

「2020年IEC活動推進会議(IEC-APC)議長賞」を受賞

EMCにおける高周波の連続波免疫試験※¹において、有識者としてIECにおける標準化活動に貢献。規格の問題点や課題を国際会議に提出し、日本の意見の反映と規格の合理性を追求し実行しています。

※¹電子機器の、電磁波耐性の性能を測る試験

参照
https://www.toyo.co.jp/files/user/company/documents/release/210121_iec_apc_69016.pdf



ワノ・テクノロジー・カンパニー
EMCビジネスユニット所属 中村哲也

東陽テクニカ顧問の大久保信行が ベルギー王国より「レオポルド勲章オフィシエ章」を受章

当社元取締役で顧問※²の大久保がベルギーと日本の大学間交流への貢献で高く評価され、2020年12月11日(金)、ロクサンヌ・ドゥ・ビルデルリング特命全権大使より勲章を授与されました。

※² 所属、肩書は受章当時のものです。



(写真提供：中央大学)

参照
https://www.toyo.co.jp/files/user/company/documents/release/210106_leopold_69011.pdf

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。従いまして、本資料は、記載された目標・予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。

お問い合わせ先
株式会社東陽テクニカ
経営企画部
toyo-ir@toyo.co.jp